

121121 キイロスズメバチの巣

先日、建物の壁面に営巣していた「キイロスズメバチ」の巣が撤去されました。

間もなく営巣期間も終了する時期なのですが、その建物の解体工事が始まってから巣が見つかったため、やむを得ない措置だったようです。

撤去される際に、破壊を免れた巣の一部分をもらってきて、その内部を調べてみると…

まだ巣房の蓋が閉じていたサナギの部屋が一つだけ残っていました。

そして翌日、その蓋の中央部に穴が開いていることに気づいたのです！

さらには…

中から、りっぱに育ったスズメバチの大顎（おおあご）が見えていました。

しかも、その大顎で蓋をかじって、巣房から出ようとしているではありませんか！

秋も深まった11月中旬のこの時期、もう「働きバチ」の羽化は終わっている（今から羽化しても仕事も餌もない）でしょうから、この個体は「雄バチ」か「新女王バチ」だと思われます。

さらに詳しく観察すると…

腹部の先端が尖っている点と、りっぱな大顎を持っている点から判断するに、どうやら「新女王バチ」ではないかと思えます。

（雄バチは外役活動を行わないため、大顎はあまり発達していません。）

◆写真①： キイロスズメバチの巣

◇撤去された巣の一部です。

◇中央部付近で、白く盛り上がっているところがサナギのいる巣房の蓋です。

◇よく見ると、その蓋の真ん中に穴が開いていますね。

◆写真②： サナギの巣房の中は…

◇スズメバチの顔の中央の「鼻」のように見える「頭楯」（とうじゅん）という部分と、その下の丈夫な大顎（おおあご）が見えています！

◇赤っぽく見えるのは、左右の大顎の下からのぞく口の部分ですね。

◆写真③： 大顎

◇大顎を使って、巣房の蓋を噛み切っています。

◆写真④： 顔が…

◇キイロスズメバチの新女王の顔が、はっきりとわかりました。

◇左の触角も出てきました。

◆写真⑤： 脚が…

◇左の前脚も出てきました…(@_@)

◆写真⑥・⑦： 巣房から脱出

◇新女王バチが羽化しました。

◆写真⑧： キイロスズメバチの巣（標本）

◇金剛山頂付近の「ちはや園地」内にある「星と自然のミュージアム」に展示されている巣の標本です。

◇内部の様子がわかるように、外部を覆っている「外被」を取り除いてあります。

◇巣盤が何重にも重なっているのがわかりますね…

さて、この「新女王バチ」はどうなったかと言うと…

巣内で羽化した新女王バチは、働きバチからたっぷりと栄養をもらい、それを脂肪として体内に蓄え、二度と戻ることのない結婚飛行へと飛び立って行きます。

そして、途中で出会った雄バチと交尾を終えた新女王バチから、「越冬」という長い困難を耐え抜くのです。

（雄バチは交尾後、死んでしまいます）

残念ながら、この「新女王バチ」は羽化できたものの、栄養をもらうはずの働きバチが不在ですので、もはや飛び立つ力すら残ってはいませんでした…















